

連載第64回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市会 第3回定例会 決算特別委員会での論戦より

医療局・病院経営本部および健康福祉局の事業審査で質問に立ち、直近のコロナ対応をはじめ、横浜市の医療・福祉の重要課題について、論戦を交わしました。

(以下、質疑の抜粋。朱色文字は当局答弁要旨。)



横浜市会議員

たけのうち猛

<ご相談・ご連絡先>

公明党金沢支部事務所：金沢区富岡西 3-38-1-101 TEL：080-9804-9782 FAX：045-345-4345

info@takenouchi-takeshi.com http://www.takenouchi-takeshi.com/

医療局・病院経営本部関係

1. 横浜市救急相談センター「#7119」のマグネットシートを作成

公明党の提案で平成18年に「小児救急電話相談」

としてスタートし、全年齢への対象拡大、24時間365日対応など、一貫して充実に取り組んできた横浜市救急相談センター「#7119」について、

健康福祉局関係

1. コロナを抑える体制整備を

濃厚接触者の追跡、受診調整、入院・入所調整、陽性患者のフォロー、接触者の健康観察などに加え、日々の健診や健康づくりを担う保健所等の現場が疲弊しない体制整備を要望。

感染症以外の業務を担当する職員による応援や、会計年度任用職員の新規採用、一部業務の委託化など、保健所の機能強化を進めています。さらに感染症対策強化担当チームを設置して業務改善の検討に着手。保健師や看護師の専門分野以外の業務を事務職が担うなど、効率的な体制を構築していきます。

2. ICT環境整備を通じた、新たな地域福祉の模索を

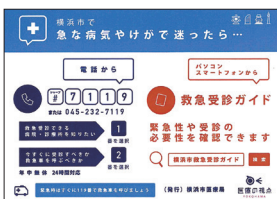
民生委員・児童委員など、対面による訪問・見守りが難しくなっていることや、将来的な担い手不足の解消も視野に、オンラインなど新たな手法を活用した積極的な事業展開を要望。

ICT環境に不慣れな方も活用できるよう研修等を実施します。併せて、オンラインによる各種講座や会議、活動、相談等が実施できるよう、事業推進や活動支援に取組みます。また、これまで関わりの薄かった若年者層の方について、オンラインをきっかけとして新たなつながりをつくり、ボランティア活動への参加を通じた地域人材の発掘など、新たな展開に広げていきたいと考えています。

3. 障害者の移動支援が前進！

障害者の移動支援として、「福祉特別乗車券交付事業」「重度障害者タクシー料助成事業」に加え、公明党として要望を重ねていた自家用車への燃料費助成について、早期の事業実施を要望。

障害のある方の高齢化や重度化を踏まえ、現在の制度を活用しづらい方の選択肢を広げるため、燃料費助成の検討を始めました。障害のある方にとって真に有効な外出支援策となるよう、関係各所と調整を進めていきます。



で、「いざという時に番号を思い出せない」という声も多いことから、マグネットシートの配布など、更なる普及啓発を要望。

これまで、リーフレット、ポスターを作成して、市内の病院や高齢者施設に配付したほか、#7119の動画を病院に配布し、待合室などで活用頂いています。さらに、マグネットシートを作成し配布していきます。

2. 医療的ケア児・者への支援充実へ

今年4月から、横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターが6人配置され、全区での支援が開始されているが、保育園や幼稚園、学校、福祉施設など医療的ケアのある人に対応できる社会資源は限られており、支援の手が十分とは言えない。

コーディネーターが活動で得たニーズ等の情報をもとに、地域の福祉施設等に対して医療的ケア児・者の受け入れを働きかけます。また、支援者向けに、医療的ケア児・者を受け入れる際の工夫などを学ぶ研修を実施します。